

淡路市地域公共交通会議（兵庫県淡路市）

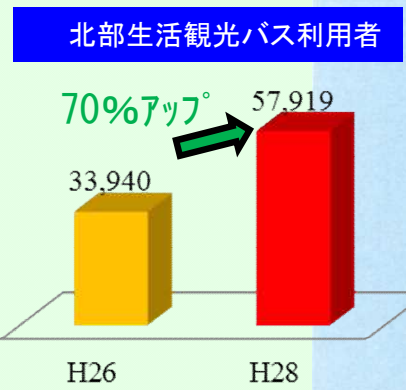


既存の路線バス路線の一部廃止を機に、地域公共交通ネットワーク全体を再編し、廃止前の補助金同等額で、既存路線の維持や、高速バス、高速船等との乗継利便向上、観光客の足の確保等を実現。廃止前と比べ、利用者の70%増加等を達成。

（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

- (1) 関係者との協働
 - 北部生活観光バスは、沿線上の住民や町内会、船舶事業者等様々な関係者と連携して、運行ルートやダイヤ等を調整。
- (2) 島全体の交通網を総合調整
 - 島内の淡路市、洲本市とも意見交換を行い、島全体のバス路線網や乗り継ぎポイント等を調整。市域を越えた地域公共交通ネットワークを構築。



2. 創意工夫

- (1) 循環バス(北部生活観光バス)の運行による様々なアクセスの強化
 - 高速バス停留所、高速船ターミナルへの接続及び乗継時間短縮により、本州や四国へのアクセスが向上。その結果市内高校への島外からの通学者が増加。
- (2) 観光路線を組み込み新たなニーズを開拓
 - 観光シーズンに合わせて観光用の路線を設定。日常的な利用だけでは無く、観光の需要も取り込んでいる。

3. 自立性・継続性

- (1) 北部生活観光バス利用者の増加
 - 平成26年度の運行開始年度は年間約3.4万人だった利用者が平成28年度には、約5.8万人に増加。
- (2) 継続に向けての取り組み
 - 北部生活観光バスの運賃は安易に廉価にすることなく、利用者にも応分の負担(500円/回)を求めることにより、安定的な収入を確保。
 - 各所のボランティア輸送(自家用有償)は積極的な利用を呼びかけ末端の交通も盛り上げている。

らくらく号の利用呼びかけチラシ

